

## 幅広く利用できるオープンスペース モノづくり試作工房「SEED」



2024年4月より、東大阪市立産業技術支援センター内にあるモノづくり試作工房「SEED」が、従来の利用目的の限定をとりやめ、原則すべての方が利用できるオープンスペースとなった。

「SEED」は、1999年に市内企業が試作品を製作する「モノづくり試作工房」としてスタート。当初は数多くの工作機械を設置し、企業の試作活動を支えてきたが、次第に利用が減少していった。

このため、東大阪市が同工房の活用方法を模索。近畿大学文芸学部の本教授に相談し、工房インテリアのリニューアルを進めた。倉庫として使われていたスペースには、人工芝を敷き床に座ってミーティングができるエリアを設け、キッチンとカウンターも備えた。工房中央に備え付けられたSEEDのロゴは、(株)撰津金属工業所が制作。バケツを使った照明は学生がアイデアを出し、(株)盛光SCMが制作。シャンデリアにはミノル化学工業(株)の廃番プラスチックコップを使用するなど、地域モ

ノづくり企業の協力を得て、2019年4月にリニューアルが完了している。

現在、「SEED」の利用は、貸し切りでなければ無料。昨年には、NHK番組「発見!」に「なにワザ」の放送会場になった他、最近では東大阪少年少女発明クラブの実習にも利用されているという。様々な形で利用されるようになったこのオープンスペースを是非ご活用頂きたい。

△お問い合わせ先▽

東大阪市立産業技術支援センター  
電話 061678513325



▲人工芝を敷いたミーティングスペース